

EXPASA 御在所（下り線）の開発コンセプト

うまし国フードテラス

EXPASA 御在所（下り線）は、中部地方から伊勢方面や関西方面へ向かうお客さまが三重県内で最初に訪れるSAとなります。そこで、施設設計にあたっては、三重県への期待と旅立ちの清々しさに満ちたものにしたいと考えました。

■ イメージ計画

式年遷宮により再生し続ける伊勢神宮の精神に敬意を払いつつ、ガラスカーテンウォールとアルミパネルを採用して、上り線施設とはあえて正反対の、真新しさと清浄感のある現代建築としています。ファサードには神社建築で天地の恵みを表す「千木」をモチーフにした斜柱を配置して、建物を特色づけました。

建物が北西向きのため、冬の熱負荷と夏の西日に配慮して複層ガラスと赤外線遮蔽フィルムを用いるほか、夜間でも、天井裏になるガラス面と開口から窺える内部の灯りが相まって賑わいを感じ取ることができます。



内部空間は天井高を 4.5m とし、清潔感と開放感のあるオープンテラスをイメージした作りとしています。また、幕板の仕上げに伊勢型紙のパターングラフィックを取り入れることで、伝統と清新（現代にも通用するデザイン性）の融合を表現しています。

